



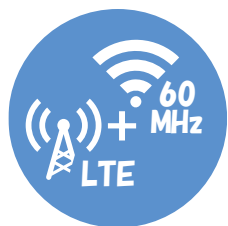
防災行政無線 (60MHz) × 携帯電話網 (LTE)

ハイブリッド型 同報無線システム

QPSK方式 (ARIB STD-T115 規格準拠)

複数の通信方式で、災害時でも確実な情報伝達を実現。

防災行政無線と携帯電話網(LTE)のハイブリッド方式で、
広範囲かつ安定した情報伝達を実現した同報無線システムです。



回線2重化によるリスク低減

2つの回線を併用することで、一方の回線に障害が発生した場合でも、もう一方の回線で情報伝達が可能。
両方の長所を兼ね備え、短所は補える次世代システムです。



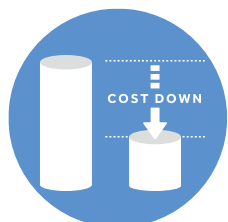
より多くの住民の方々へ届ける

携帯電話網(LTE)の利用で、従来の防災行政無線ではカバーできなかった山間部や島しょ部など、より多くの住民へ防災情報を届けることができます。



情報伝達手段の多様化・多層化

地理条件や、高齢者・外国人など、地域の特性に合わせた情報伝達手段を構築。情報伝達の死角をなくし、住民一人ひとりに確実に情報を届けることができます。



柔軟な運用でコストダウンを実現

携帯電話網(LTE)の屋外スピーカーは、人口変動に合わせて容易に増設・移設・撤去が可能。中継局も不要なため、柔軟な運用で整備コストを削減できます。



■ 携帯電話通信に、災害時の通信規制がかかりにくい「パケット通信」を採用しています。

■ 60MHzデジタル無線は、ARIB標準規格「市町村デジタル同報通信システム」及び、同システムTYPE2に準拠。

システムの詳細はこちら▼

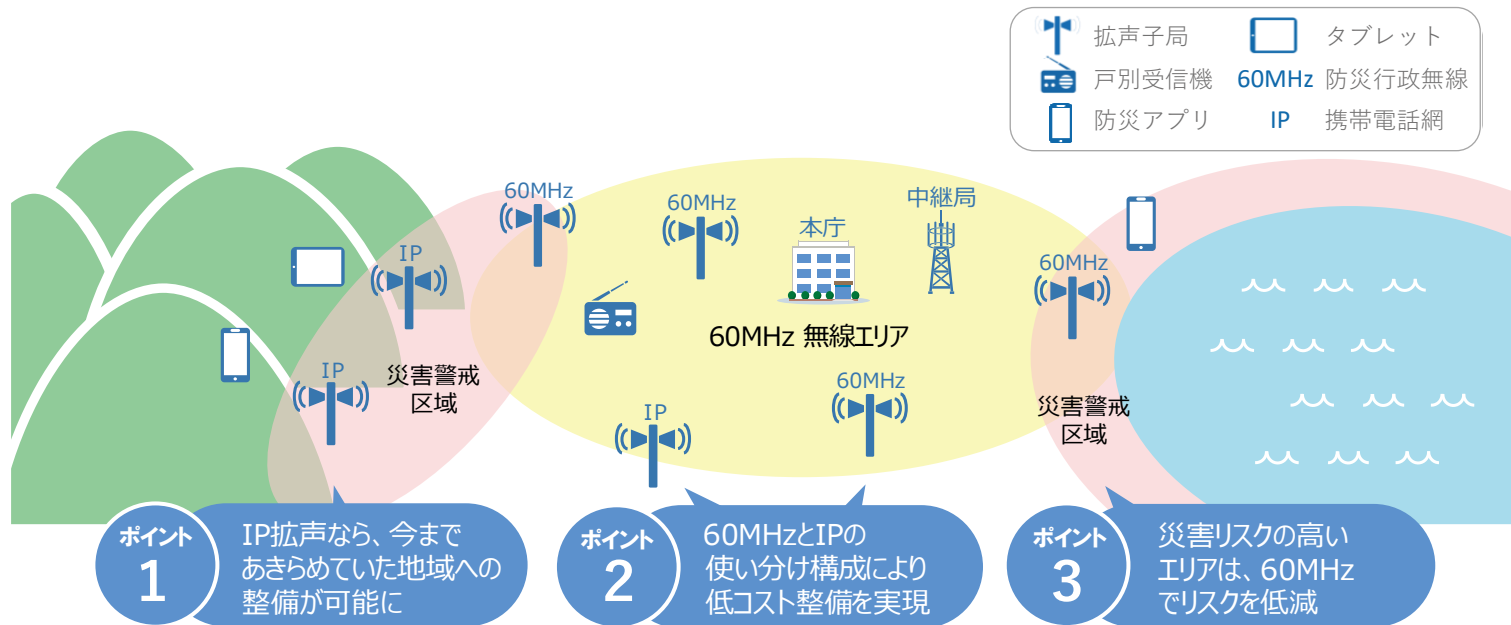


ホームページ
ハイブリッド型
同報無線システム



自治体様の地勢にあわせた構成

「災害リスクのある沿岸部や山間部は高い信頼性の60MHz」
「市街地は60MHz、エリア外はIP」
など使い分け構成により整備費を抑えることができます。



自治体様の課題

- 大災害で役所が被災したら…山頂の中継局が故障したら…
- 合併による広域化で、山間部等に電波が届かない…
- 全域に整備したいけど、整備コストが気になる…
- 移設等に柔軟に対応したい…スマホに情報伝達もしたい…

ハイブリッド同報なら全て解決！

- 親局や中継局が被災しても、IP拡声なら放送を維持できる可能性が高まる！
- 携帯電話エリアならIP拡声子局をどこにでも設置可能！山間部や島しょ部もカバー！
- IP拡声なら中継局不要！初期費用、整備コストを大幅削減！
- エリアを気にせず容易に増設・移設・撤去が可能！SNSや防災アプリを利用した情報伝達も可能！

◆ 納入自治体

長野県
松本市

和歌山県
和歌山市

兵庫県
神戸市

鳥取県
鳥取市

東京都
江東区



社会システム事業部

[大阪支社] 〒530-0003
大阪府大阪市北区堂島2-4-27 JRWD堂島タワー15F
[東京支社] 〒105-0012
東京都港区芝大門1-1-30 芝タワー12F

お電話 または お問い合わせフォームよりお気軽にお問い合わせください！

① フォームからお問い合わせ

二次元バーコードを読み取り、
フォームから送信してください



② お電話でのお問い合わせ

06-4797-7604

「ハイブリッド同報無線のリーフレットを見た」
とお話いただくとスムーズです